

地方公共団体の取組事例

群馬県

「青少年のインターネットの適切な利用に向けた取組」

群馬県では、平成25年度にネットを安全・安心に使うためのセーフネット標語「おぜのかみさま」を考案し、平成26年度からは、県民運動として「おぜのかみさま」の普及・啓発活動を県警察、県教育委員会、市町村、県青少年育成推進会議等と一体となって推進している。

セーフネット標語「おぜのかみさま」

- ・おくらない(写真)
- ・ぜったいあわない(ネットで知り合った人)
- ・のせない(個人情報)
- ・かきこまない(悪口など)
- ・みない(有害サイト)
- ・さがさない(出会い)
- ・まもる(ルール)

【おぜのかみさまリーフレット2022】



〈県児童福祉・青少年課の取組〉

1 「おぜのかみさま」リーフレット等の作成・配布と各種広報啓発活動

毎年、全小中学生に対してリーフレット、中学1年生に対してクリアファイルを作成して配布している。令和2年度は、県内に在住する外国人に対して、セーフネット標語を周知するために外国語(5カ国語)リーフレットを作成した。

また、これまでに「おぜのかみさま」紙芝居やLINEスタンプを作成して広報啓発に活用したり、「おぜのかみさま」アニメーションをYouTubeで配信している。

2 情報モラル講習会の実施と各種団体等との連携

NPO法人「ぐんま子どもセーフネット活動委員会」や青少年育成推進員と連携して、県内の小中学校、高校、保護者世代、地域の会合等においてインターネットを適正に利用するための講習会を実施している。

3 各種講習会の実施

(1)平成30年度と令和3年度は、内閣府、県教育委員会、県警察本部等との共催で「青少年のインターネット利用環境づくりフォーラム in 群馬」を開催した。

(2)文部科学省委託事業である「依存症予防教育推進事業」を活用して、平成30年度は県内3か所、令和元年度は県内2か所で「インターネット依存症予防教室」を実施、令和2年度は群馬公式YouTubeチャンネル「tsulunos」で録画配信を実施した。

〈県教育委員会の取組〉

1 児童生徒主体の活動の推進

県内12地区でいじめ防止フォーラムを実施し、小・中・高校生の代表者が「表に出せない相手の気持ちを理解し、自分の行動を考えることでお互いを大切にしよう関係をつくるために、私たちにできること」を共通テーマとして意見交換を行う等、生徒主体の活動を推進している。

2 教職員への研修会の実施

教員のインターネット問題への対応力向上に係る研修会を各校の実態に応じて実施するため、生徒指導の中核を担う教員向けの講習会を実施している。

3 SNS上の不適切な投稿の調査・監視の実施

SNS上の不適切な投稿の有無について調査・監視を行い、問題のある投稿を検知した場合は、学校や関係機関と連携して、削除依頼や生徒への指導を行っている。

〈県警察本部の取組〉

1 警察職員による情報モラル教育の実施

県警察本部(子供・女性安全対策課)において実施される、小中高等学校(保護者含む)対象の情報モラル教室等において、セーフネット標語「おぜのかみさま」に関する広報・啓発活動を実施している。

2 SNSに起因する性被害防止のための広報啓発活動

サイバーパトロール活動において、SNS(Twitter)上で児童の性被害に繋がるおそれのある不適切な書き込みを発見した際、対象とする書き込みに対して注意喚起に資するメッセージを投稿の上、広報・啓発用ポスターを貼付し広報啓発している。

3 関係機関と連携したサイバー空間の浄化活動

サイバー防犯ボランティア団体「群馬県警察サイバーパトロールコラボレイター」と連携したサイバーパトロール等を実施し、サイバーパトロール等により違法・有害情報の把握に努めるとともに、違法情報の取締りおよび有害情報を端緒とした取締りを推進している。